

## 第8回常任理事会

日時 平成21年12月16日(水) 19:00~19:30

会場 移動理事会

参加 日野浦 岩田 津曲 日高 田邊 佐藤 花牟禮 伊豆 松尾 内山 清山

議事録担当：清山

### 第8回常任理事会次第

#### 1) 開会

2) 第7回常任理事会議事録確認：会計のところの一文、社名を除く

#### 3) 報告事項

##### 1. 会長挨拶

1年間お疲れ様でした。学会が盛況に終わり、日臨技の公益事業も組織、学術皆さんのおかげで成就できたので非常によかった。

(報告)

・日臨技会長選結果は北海道の高田氏が当選した。副会長は米坂氏と小沼氏となった。

##### 2. 事務局連絡

・会員登録用紙提出状況であるが、未提出者に連絡し回収中である。小さな施設や個人は各地区理事の協力を仰いで全員の回収を目指したい。

・日本臨床検査技師連盟払い込み取り扱い票は全員に配布した。

・平成21年度形態検査部門研修会決算書報告がきているので各自確認していただきたい。

・宮臨技会長選の案内を施設連絡責任者に配布した。

##### 3. 庶務

・11月分の各地区および研究班活動は5件。宮崎県医学検査学会の正会員参加者は111名、非会員技師は2名であった。

・今年度の未入金者は11名で組織と協力して督促の連絡をしたい。

・会員登録用紙の回収状況は373枚配布して321枚回収した。うち氏名や所属施設等に変更のあったものは38名であった。希望研究班については人数の多いところで70~80名、少ないところで10名程度である。

・日臨技会長選の投票は103票であった。

・宮崎県医学検査学会一般演題募集要項修正案について、今学会を実施した中で変更のあった部分(例：スライド操作者、生理部門の動画については本人にPC持参をお願いする等)を修正している。詳細については来年度以降に協議する。また、抄録に共同演者で指導医を載せることに関しては問題ない。

・役員専用宮臨技行事予定表運用について、地区理事と各研究班長に資料を配布した。

##### 4. 会計

・AED助成金については日臨技より入金があり都城地区理事の芝原さんに送付済みである。

## 5. 組織

- ・衛生検査所・地区委員会調査指導員の推薦は会長、副会長、本人了解のもと山下氏を継続として推薦した。
- ・平成 21 年度 AED 講習会県西地区進捗状況については、現在 9 名の申し込みあり。講習会終了後に「技師会として修了証書がだせないか？」との質問があったが、認定機関でないので終了証書をだすのは難しい。
- ・平成 21 年度日臨技都道府県公益委託事業 AIDS 、 STI に関する事業については 1 2 月 6 日に実施し、10 名でらし、コンドーム、日臨技からもらった絆創膏を配布した。
- ・日臨技各賞受賞候補者の推薦については永年勤続表彰のみを準備している。今年中には出したいと考えている。

## 6. 学術

- ・県学会の総括：111 名の参加があり半日でなく終日にわたって開催できたという実績も残ったのでよかった。
- ・日臨技臨床検査データ標準化事業への助成金については、宮臨技に 4 万円、1 基幹病院につき 4 万円、基幹施設に 3 万円おりてきた。ボランティア数の 1 件あたりのコスト単価は大学が約 19 万円、古賀病院が約 7 万円となり、最終的に宮臨技の負担額は 10 万円程度になると思われる。

## 7. 審議事項

- ・第 59 回日本医学検査学会一般演題座長候補者推薦については該当者がいなかったため提出しない。また、一般演題募集については 5 2 0 演題目標の中 5 0 0 演題に達した。
- ・プロモーション地区委員会研修会に佐藤理事が出席する。
- ・第 3 回九臨技会議が 2 月 6 日に八仙閣で開催される。
- ・2 月に開催される第 2 1 回九州地区卒後セミナー血液検査研修会は 1 0 2 名の参加申し込みがあった。宮崎県からの参加人数は 3 0 名である。

## 次回理事会

2 月開催予定。